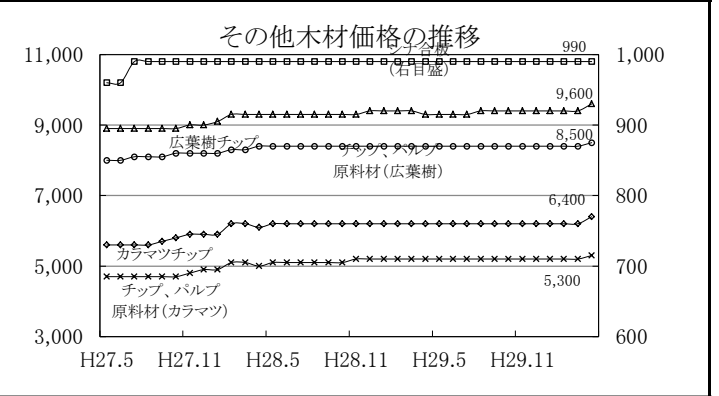
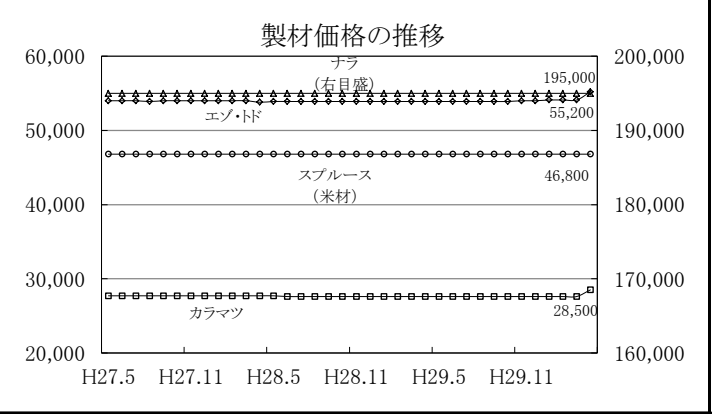
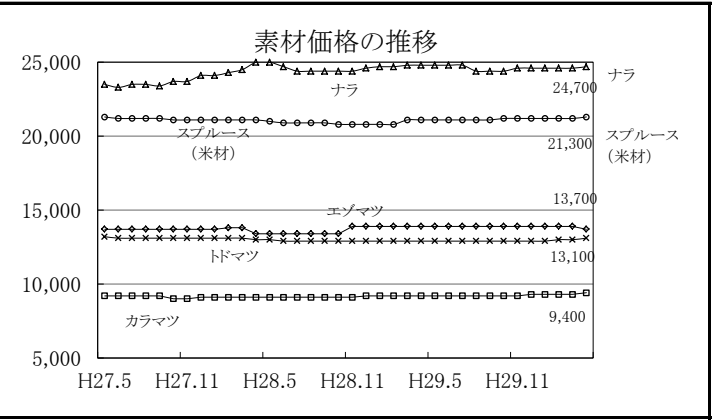


# 道内の木材市況概況(平成30年4月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差	市況の動向
素材	エゾマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	12,500	△ 200	(道産材) ・エゾ・トド原木は、依然として不足感は続いているが、一部地域で回復が見られる。在庫は工場によりばらつきがある。市況は保合。 ・カラマツ原木は、平均単価が上昇しており、荷動きは一部地域で回復の兆しもみられるが、不足感は解消されていない。市況は保合～強保合。 ・広葉樹原木の市況は、樹種によって弱含み～強気配となっている。 (外国産材) ・米材丸太の3月の輸入量は0千m <sup>3</sup> (前月4千m <sup>3</sup> ・前年同月2千m <sup>3</sup> )。3月末港頭在荷量は8千m <sup>3</sup> (前月比80%・前年同月比79%)。
	トドマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	13,100	100	
	カラマツ	径14~18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,400	100	
	ナラ	径30~38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	24,700	100	
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	21,300	100	
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	55,200	1,100	(道産材) ・エゾ・トド製材は、製材荷動きは例年並みとなっているが、各地域で価格の値上げが行われている。市況は保合～強気配。 ・カラマツ製材は、注文は概ね順調に入ってきているが、原木、適材不足が続き、4月から一部の工場で値上げされている。市況は保合～強気配。 (住宅着工戸数) ・3月の新設住宅着工戸数は前年同月比108%。 (外国産材) ・米材製材の3月の輸入量は1千m <sup>3</sup> で前月比84%、前年同月比35%。3月末港頭在荷量6千m <sup>3</sup> で前月比93%、前年同月比62%。
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	28,500	900	
	ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	195,000	0	
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込	港頭オントラ	46,800	0	
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	990	0	市況は保合。
チップ、パルプ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	5,300	100	・チップ原料材、パルプ原料材は保合。 ・チップは保合。
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,500	100	
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	6,400	200	
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	9,600	200	



注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。  
 注2 価格欄の「-」は、当該調査月に当該調査品目の取引がなかったことを示す。  
 注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。